

市民文教常任委員会会議記録（概要）

平成28年8月3日（水）

開 会 （午後1時30分）

【議 事】

○特定事件「スポーツ振興について」

- ・所沢市スポーツ推進計画について

石本委員長

事前に配付した資料について、後ほど全議員に配付してよろしいか。

（委員了承）

【概要説明】

海老沢スポーツ振興課長

それでは、所沢市スポーツ推進計画について御説明させていただきます。初めに、表紙をめくっていただきますと、「はじめに」という市長のあいさつの中にもありますように、前計画である所沢市スポーツ振興計画の基本的な考え方は継承しつつも、スポーツを取り巻く環境の変化などから、東京オリンピック・パラリンピックへの取り組みや障害者スポーツ、そして健康寿命の延伸など、社会情勢の変化を勘案しつつ、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに取り組むことができるよう、所沢市の特色を活かした各種スポーツ施策を盛り込んだ計画といたしました。次に、第1章計画の基本的な考え方ですが、2ページを御覧ください。本計画の計画期間ですが、7ページの（3）所沢市自治基本条例の制定にもあります

ように、本市の政策は、総合計画に基づいて行われるものとしますという条文に則り、第5次所沢市総合計画後期基本計画との整合性を図るため、計画期間を平成28年度から平成30年度までの3年間の短期計画といたしました。従いまして、従前の所沢市スポーツ振興計画の基本的な考え方を引き継いだものとなっております。次に、第2章スポーツ振興計画の施策の進捗状況及び現状ですが、前計画である所沢市スポーツ振興計画後期計画改定版の平成23年度から平成27年度までの5年間の目標に対する取り組みや実績を掲載しております。まず、9ページから14ページにはスポーツ施設の整備・充実ということで、この5年間に修繕や検討した内容を実績として掲載しております。15ページから19ページには、スポーツ事業の充実ということで、所沢シティマラソン大会をはじめとした各種スポーツ大会やスポーツ教室の開催状況、各年代におけるスポーツの推進や障害者スポーツの支援についての実績を掲載しております。また、この章では25、26ページにありますように、学校体育・スポーツの充実について、子ども達への体力向上の支援や運動部活動の充実について掲載しております。さらに、27ページにはスポーツ振興計画における成果として、スポーツを楽しんでいる人の割合と小・中学校新体力テストにおける全種目の市平均値が県の体力標準値を上回る率の目標値と実績値を示しております。次に、第3章スポーツ推進計画の目標と取り組みですが、先ほども申しあげましたように基本的な考え方は前計画を継承しつつも、前計画策定時とは社会情勢も変化しておりますので、一部内容の変

更や新規項目の追加を行いました。31ページを御覧ください。所沢市公共施設等総合管理計画が平成27年度に策定され、基本的な方針が示されましたので、スポーツ施設の整備計画もこの計画との整合性を図ることが求められています。このことを踏まえ、スポーツ施設の整備・充実につきましては、平成28年度から平成30年度までの目標を掲げております。

32ページを御覧ください。所沢航空記念公園多目的運動場につきましては、平成18年度に所沢市長名で埼玉県知事宛に要望書を提出して以来、埼玉県と協議を進め、今年度埼玉県が本設計を予算化して現在進めております。38ページを御覧ください。スポーツ事業の充実につきましては、冬の風物詩として毎年開催しております所沢シティマラソン大会につきましては、平成20年度には6,000人程度だった参加者が平成26年度には8,000人以上となっております。44ページの(9)顕彰を御覧ください。スポーツの競技会において優秀な成績を修めた人・団体又はスポーツの発展に寄与した人・団体に対し、その榮譽を称え功績を顕彰していることにつきまして、新しく項目を設けました。また、51ページの(4)自然に親しむスポーツ活動の推進につきましては、新たに加えた項目で、2つのウォーキングについて掲載しております。さらに、57ページのプロスポーツ・大学との連携及び59ページの東京オリンピック・パラリンピック開催支援も追加項目で、こちらにつきましてはいずれも重点項目として捉えています。次に、第4章計画の進行管理と計画期間における指標ですが、61ページを御覧ください。前計画では進行管理については記

載しておりませんでした。本計画ではP D C Aサイクルによる進行管理を行い、スポーツ推進審議会に進捗状況を報告することとしております。

62ページの指標につきましては、第5次所沢市総合計画後期基本計画のスポーツ振興の指標である3つの指標を、本計画でも指標といたしました。計画策定までの経緯につきましては、80ページを御参照ください。

本計画につきましては、3回開催したスポーツ推進審議会及び関係課の所属長情報交換会議にて、本計画の素々案について御意見をいただきました。また、11月に開催された政策会議で素案を発議いたしました後、教育委員会会議で協議をいたしまして12月にパブリックコメントを実施し、その後スポーツ推進審議会と教育委員会会議に諮り、政策会議を経て平成28年3月に発行いたしました。

【質 疑】

荻野委員

第5次所沢市総合計画後期基本計画との整合性を図るため、計画期間を平成28年度から平成30年度までの3年間としたということだが、31年度以降についても基本計画と合わせていくという考え方でよろしいか。

海老沢スポーツ振興課長

次期の計画につきましては、今後また協議等を進めていきますが、基本的には第6次所沢市総合計画に基づいた計画ということで、現在のところは考えております。

美甘教育総務
部長

前回の計画期間は10年間ということで、社会情勢の変化等に対応していくには少し長過ぎました。それから、総合計画と併せて毎年度実施計画も策定しますので、連動したほうが施設の整備計画などについても、効果的なものとなります。今後、策定に向けて準備を進めますが、その中で期間についても慎重に審議してまいりたいと考えております。

石本委員

北野公園市民プールについて、スポーツ振興計画後期目標の欄には施設の廃止に向けて、関係部署と協議を行いますとあるが、実績欄には関係部署との協議の結果、継続利用を図ることとし、平成24年度にリニューアルオープンしましたとある。廃止する考えは一旦取り下げたのか、それとも廃止する方針は残っているが現状として使用しているのか。

海老沢スポー
ツ振興課長

指摘があった事項につきまして、平成24年度に施設の長寿命化を図る改修を行い、現在はリニューアルした市民プールを継続ということで、新しい事業等を計画いたしまして集客を呼びかけているところです。

石本委員

何を根拠に廃止となったのか。また、もともとあった計画が改定されたのか。

海老沢スポー
ツ振興課長

昭和47年に開設した市民プールは、施設の老朽化が進み、平成22年頃から、ろ過基準が現在の基準に達していないと保健所から指摘がありま

した。ろ過装置を新たに入れるにしても、修繕等多額の費用がかかることから、平成23年度に施設の廃止を含めた協議を行った結果、市民の強い要望もあり、ろ過器を新たに増設し、スライダー等も改修いたしまして、また実施に向けてということで現在に至っております。

西沢委員

平成20年頃に行った事業仕分けの中で、廃止の方向性が出たのではないのか。

海老沢スポーツ振興課長

事業仕分けで不要という判断が出され、最終方針で廃止という方針が出されましたが、実際に廃止というところまでは、その段階では至らなかったと記憶しております。

西沢委員

温水プールについて、つくりたいという民間企業が出てきたときには、それに御協力する準備は十分あるという市長の答弁があったが、市としてこの温水プールの位置づけはどうなっているのか。

海老沢スポーツ振興課長

温水プールにつきましては、東部クリーンセンターでの余熱を利用した民設民営化による手法ができないものかと議会でも答弁したところです。また、温水プールは用途によって分けられ、競技用の50mプールができればということで検討しておりますが、競技用であるとスポーツ振興課が所管になると考えております。

美甘教育総務
部長

補足いたしますと、この計画の中でも第2章の振り返りの中では、温水プールについては他市の類似施設の調査を行うということで、これまで調査をしてきた経緯はあります。ただ、温水プールにつきましては、民間の施設やスポーツクラブなどもふえておりまして、費用的なことも考えると、新たにつくるのは難しい状況がございます。本計画の中で、建設計画についてはお示ししてはおりません。ただ、温水プールにつきましては、市長からも答弁がありましたように民間の活力を借りてつくるようなことが可能であれば、教育委員会としても今後十分研究をして、対応してまいります。

西沢委員

第2章を読む限りにおいては、将来的に市として温水プールを設置していかうという方向性を感じるが、答弁だけを聞いていると民間任せかなという気がしないでもない。場合によっては、もう少し方向性がはっきりした後に推進計画に載せるといったこともあったのではないかと思うが、いかがか。

美甘教育総務
部長

冒頭申し上げましたとおり、この計画は総合計画に合わせて3年間ということで、ある程度前回の計画を踏襲しておりまして、これまでの振り返りと今後3年間の取り組みについてお示ししております。今後、3年間に公設のプール云々といったことを盛り込むことは考えておりませんでし

たけれども、次期の計画の中で、民間を活用して行うのか、市が力を入れてやるのか、十分研究しながらその辺についても触れていくことができればと考えております。

西沢委員

現段階では民設民営と決まったわけでもないし、どういう手法があるかということも含めて、まだ研究段階という理解でいいか。

美甘教育総務
部長

基本的にはそういうことになると思います。

荻野委員

平成24年にプールを改修した後に、シーズンオフの活用についてアイデアを募集したことがあったと思うが、その後の検討結果について伺いたい。

海老沢スポー
ツ振興課長

市民プールは公園施設で、夏の期間だけ公園課から教育委員会に委任されております。平成24年度に公園課が、冬場の利用についてということで広報ところざわで募集をした経緯はありますが、なかったか、来てもそぐわない内容であったかと思います。

小林委員

資料1について、市民プールの利用者数は平成25年度と比較すると、26年度、27年度は大分減っているが、これは天候の影響か。

海老沢スポーツ振興課長 市民プールの利用者につきましては、天候に大変左右されます。平成25年は猛暑で3万人を超えましたが、26年、27年については前半はよかったのですが、8月に入ってからあまり天気がよくなかったこともあり、このような利用者数となっております。

小林委員 北中運動場、北野総合運動場、狭山湖運動場について、平成25年度と比較して26年度、27年度は、利用者数が減っているのに収入がふえているが、これはなぜか。

海老沢スポーツ振興課長 平成27年4月1日からテニスコートの使用料の見直しを行い、2時間300円から2時間600円にした経緯があり、収入増となっております。

石本委員 所沢地区体育館と松井地区体育館について、スポーツ振興計画後期目標には設置場所、工事方法、建設費用などを検討しますとあるが、実績には建設計画策定は見送りましたとある。今後、応急手当的なものは行ったとしても、大規模修繕などは行わないということか。

海老沢スポーツ振興課長 所沢地区体育館と松井地区体育館については、建物そのものはありません。地区体育館の建設の要望があり、所沢地区体育館については旧文化会

館跡地ということで議会でも議論がありましたが、傾斜地という立地条件や費用等の課題があり、計画策定に至っていない状況です。

石本委員 建設計画を策定しようとしたのは、地元自治会から要望が出てきたからか。

海老沢スポーツ振興課長 そのとおりです。

小林委員 テニスコートの使用料の見直しを行い、300円から600円に上げたことで、収入は上がったが利用者は減った。結果的に、使用料が上がったために利用者数が減ったという見方ができると思うが、いかがか。

海老沢スポーツ振興課長 屋外の運動施設は天候に左右される部分が多分にあります。実際に雪などが降ると、その後かなりの期間使えないといったことがありまして、使用料が上がったから利用者が少なくなったとは捉えておりませんし、そのような苦情も市にはありません。

荻野委員 総合型地域スポーツクラブの支援について、目標には東地区への総合型スポーツクラブの設置を検討しますとあるが、結果的には実現に至っていませんということであった。東地区への設置ニーズは結構あるのか。

海老沢スポーツ振興課長 計画では最初に西地区、早稲田大学につくりまして、東地区につきましては所沢東高校跡地を施設候補地として検討を行っておりましたが、実現には至りませんでした。実際には設置の要望はありませんが、市の施策として、新設に向けたモデルケースの情報収集等研究していきたいと考えております。

荻野委員 特に継続的に地域の方から要望が来ているわけではないのか。

海老沢スポーツ振興課長 そのとおりです。

小林委員 運動部活動の充実とあるが、中学校の教職員の部活動の休養日についてはどうなっているのか。

海老沢スポーツ振興課長 中学校の運動部活動では、1週当たりの平均練習日数を5日程度としております。また、休養日の設定につきましては、すでに学校ごとに休養日の設定がなされており、年間行事計画や日課表の中に位置づけられております。さらに、長期休業中の活動日数の上限を定めたり、定期テストなど学校行事に応じた活動停止期間を設けて対応しております。

小林委員 1週当たりの平均練習日数は5日程度ということだが、休養日の設定は具体的にどのようにされているのか。

本間スポーツ
振興課指導主
事 土日の練習日につきましては、両日ともということではなく、どちらか1日ということで学校の実情に応じて、実施している学校もあります。また、休養日等につきましても、平日に部活動を行うに当たっては、細かいところで職員の休養を設けようと学校で取り組んでおりまして、実際に活動する前の準備時間を休養に充てたり、あるいは終わりの時間を休養に充てるなどして、各学校で工夫しながら実施しております。

小林委員 朝練も行い、放課後も練習を行う学校はかなり多いのか。

山下学校教育
課副主幹 朝練については、やっている部活もあればやっていない部活もあります。また、顧問によっては朝練には出て来られないということで活動していない部活もあり、各学校で取り組みの様子はかなり違います。

小林委員 顧問によってはということだが、練習には必ず顧問が出るということが前提になっているのか。

山下学校教育
課副主幹 基本的には、顧問の指導のもとで活動することになっておりますが、会議や保護者の対応をするために出られないときもあります。そういうとき

には、屋外で行う部活動であるならば、同じ屋外で行う部活動の顧問同士で連絡をとりあい、怪我や安全面で対応していくことになっております。

小林委員 顧問の人数について、部によって何人と割り振る指導を教育委員会として行っているのか。

山下学校教育課副主幹 顧問の割り振りについて、教育委員会が何人以上とするといった指示は出しておりません。ただ、学校によっては職員の負担軽減のため、複数顧問で対応しております。

小林委員 外部指導員の数について、学校によりばらつきがあるが、これは各学校でお願いしているのか。

山下学校教育課副主幹 教員が異動になりますと顧問も代わります。前任の顧問は外部指導員の必要がなかったけれども、新しい顧問は専門的な部分がわからないので外部指導員が欲しいという場合があることから、そのようなときは校長と相談して外部指導員をお願いする仕組みになっております。

小林委員 外部指導員は各学校でお願いするということだが、身分はどうなっているのか。

山下学校教育 課副主幹	外部指導員につきましては、基本的にはその地域の方が入っております。校長または学校の推薦があった方を、市で登録して外部指導員としてお願いしております。
小林委員	特別な手当は出さないで、あくまでボランティアか。
山下学校教育 課副主幹	手当については外部指導員の予算が決められており、その範囲内ということになります。
西沢委員	体育指導員について、市内に何人配置され、どういうことをやっているのか、その活動状況を伺いたい。
海老沢スポー ツ振興課長	体育指導員につきましては、5館ある地区体育館に1人ずつ配置されています。主に地区体育館を利用して、定期的に子どもから高齢者のスポーツの指導を行ったり、高齢者施設等に出向いて体操教室などを行っております。
西沢委員	非常勤特別職ということだが、どういう形で任命されるのか。
海老沢スポー ツ振興課長	体育の教員免許所有であるとか、専門的な指導や技能等を有した者を、教育委員会が任命しております。

西沢委員

市長から委嘱状を渡して委嘱する形か。

海老沢スポーツ
振興課長

市長からではなく、教育委員会が委嘱しております。

西沢委員

5館ある地区体育館に1人ずつ配置するというのは、法または条例に基づいて行っているのか。

市川教育総務
課長

体育指導員につきましては、非常勤特別職ということで地方公務員法で規定されているところですが、体育指導員の任命につきましては所沢市体育指導員設置要綱に基づいております。なお、報酬等につきましては、所沢市非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償に関する条例で定められております。

西沢委員

とこしゃん体操の指導者養成講座は教育委員会の事業で行っており、養成講座を卒業した人がとこしゃん協力会をつくって、そこから要請があったところに派遣されるわけだが、実際に普及活動を行うとき所管は変わるのか。養成講座を卒業した人達の位置付けは、どうなっているのか。とこしゃん協力会の方は、全くのボランティア団体という位置づけか。また、とこしゃん協力会の方がどこに何人いるということが、情報としてまちづ

くりセンターや地域包括支援センターに伝わっているのか。その辺の現状について、どうなっているのか伺いたい。

海老沢スポーツ振興課長

とこしゃん体操につきましては、各地区にとこしゃん協力会の方がおりました。スポーツ振興課ではその人数を把握しております。まちづくりセンターや地域包括支援センターから要請が来たときに、スポーツ振興課として派遣をしておりますので、まちづくりセンターにはどこに何人いるというところまでは情報として出しておりません。

西沢委員

自治会で体操教室をやりたいので派遣して欲しいという要請がまちづくり協議会からあった場合、その依頼はまちづくりセンターをとおしてスポーツ振興課に来るのか。そして、スポーツ振興課はとこしゃん協力会に連絡し、折り返し連絡が来るということか。現場の動きを見ていると、ちょっと不明確に思えるのだが、その辺の現状はどう整理されているのか。

海老沢スポーツ振興課長

自治会等で体操教室を希望している場合は、直接スポーツ振興課に依頼が来ます。今後、市民にもわかりやすく整理していきたいと考えます。

西沢委員

指導者を養成するのはいいことなので、スポーツ振興課としても、もう少し関わったほうがいいのではないかと思う。せっかく大きな資源をつくったのに、うまく活用されていないのではないかという思いがあるが、い

	かがか。
美甘教育総務 部長	ボランティアの皆さんには、実際に地域に出て汗を流して御活躍いただいておりますので、例えば生涯学習推進センターの人材バンクに登録していただき、誰が見てもわかるような形でPRを行い、ニーズがあれば紹介できるような対応等、仕組みづくりを考えてみたいと思います。
小林委員	ここに申し込めばいいということで、窓口を一本化するのか。
美甘教育総務 部長	例えば、人材バンク等もいろいろな団体が登録しておりますけれども、健康体操関係に興味があるということであれば、市民のニーズに応じたわかりやすい仕組みの構築であるとか、市ホームページ等さまざまな情報媒体を通して、市民の皆様にお知らせする必要があるのではないかと考えております。
大石委員	障害者スポーツの支援について、平成28年度完成予定の所沢市こどもと福祉の未来館に設置予定の体育館を利用して、障害者のスポーツ推進につなげていきますとあるが、どんなことを考えているのか。
美甘教育総務 部長	「こどもと福祉の未来館」はこれからオープンする施設であります、そちらにも体育施設が整備される予定となっております。そうしたことが

ら、障害者の利用も活発に行われるであろうということもありますし、そういう施設を利用してパラリンピックに向けてゴールボールの体験等、障害者スポーツの普及啓発ですとか、さまざまな分野について障害福祉課などとも協力しながら考えていきたいと思っております。

大石委員

こどもと福祉の未来館の体育館は、避難場所に設定されているため、壁面にガラスが多く、車いすの利用が難しいと福祉部から聞いた。ゴールボールについてもゴールが特殊であり、きちんとやってもらわないと活用が難しくなるが、その辺は検討されているか。

美甘教育総務
部長

この計画にもありますように、障害者スポーツや年代別のさまざまなスポーツの推進を考えていかなければいけないという状況がございます。例えば障害者スポーツの推進に関しても、スポーツ推進課だけで対応していくことはできませんので、各部署と連携しながら備品をそろえていくとか、機会を捉え調整会議を関係部署と設けて、今後の障害者スポーツの推進に向けていろいろと議論した上で施策につなげていきたいと考えています。

荻野委員

施設の効率的活用について、市民体育館のメインアリーナの利用については、各種スポーツ大会やイベントなど年間を通して土・日・祝日が飽和状態にあります。一方、平日はメインアリーナ・サブアリーナなど、各施

設とも利用率が低い状態ですとある。資料6に利用料金が記載されているが、これは平日と土日で違いはあるのか。

海老沢スポーツ振興課長 メインアリーナ・サブアリーナにつきましては、アマチュアスポーツ等一般の方が使われる分には平日と土日の区別はありませんが、スポーツと関係のない利用につきましては、平日と土日の料金を区分けしております。

荻野委員 平日については、料金設定を変えてみるなどの検討はされたことがあるのか。

海老沢スポーツ振興課長 平日の利用料金設定を変えることについては、検討しておりません。

植竹委員 新体力テストの結果について、所沢市は全国平均を上回っており体力があると思うが、検証についてはどのようにされているのか。

本間スポーツ振興課指導主事 結果の検証につきましては、所沢市の平均値を学校に示すことによって市と学校との比較を進めているところです。また、各学校が自分の学校の強み及び課題を県の平均等と見比べながら、PDCAサイクルによって検証を進めている学校もあります。

植竹委員

体力向上に向けた特徴的な取り組みはあるのか。

本間スポーツ

県全体として、投げる力と握力について若干課題があると見ています。

振興課指導主

そのような中、投げ方ということについては、根本的にどういったら正し

事

く投げられるかという取り組みを行い、各学校の中で工夫改善をしております。また、新体力テストの実施の仕方などが示されている学校体育必携という県の冊子がありますが、所沢市児童生徒体力向上推進委員会では、子ども達や実際に指導に当たる教員に写真等でわかりやすく作成したポスターを、所沢市独自でつくり各小学校に配布しております。また、投げる力、握力のみならず、他の項目についても広く周知することによって、先生方に改めて再認識していただくとともに、児童生徒体力向上推進委員から各学校に、日常生活でこんな遊びをすると体力が高まりますということで、早稲田大学の先生にも関わっていただきながら進めているところでもあります。

植竹委員

新体力テストパワーアップカードは、所沢モデルとして県からも高く評価されているということだが、具体的にはどんな取り組みか。

本間スポーツ

握力を高めるということ言えば、ダンゴ虫リレーや雲梯でじゃんけん

振興課指導主

をする、肋木と言われる体操用の器具に登るといったことを日常生活の遊

事 びの中に取り入れることによって、握力をパワーアップしていこうということでもあります。その他に上体起こし、長座体前屈などそれぞれの力を高めるため、日常生活の遊びの中でこんな遊びがありますということ、写真を入れたA0サイズのポスター版にして学校に配布することで、今の時期はこういう遊びができるということで、各学校において工夫をしていただきながら、流行をつくって実施していただいた学校も多いと聞いております。

西沢委員 資料4の中学校運動部活動について、網掛けになっているところは運動部がないということか。

海老沢スポーツ振興課長 そのとおりです。

西沢委員 その理由は指導者がいないということか。

山下学校教育課副主幹 その部活動が以前から学校に存在していなかったのと同時に、指導者がいないということで、網掛けになっている部活動についてはないということです。

西沢委員 体育の中で、柔道を教えることはないのか。

山下学校教育
課副主幹 中学校においては、武道の授業ということで柔道、剣道、相撲の中から学校選択で指導しております。その中で、多くは学校の体育の教員によって、柔道または剣道のどちらかを教えていますが、相撲を教えている学校も1、2校あったかと思えます。このように、学校の体育の教員によって指導の中身を決めております。

西沢委員 部活に柔道がないからといって、そこに指導者がいなくて体育の授業でも柔道は行われていないという解釈は成り立たないということか。

山下学校教育
課副主幹 そのとおりです。

石本委員 部活をなくす際の手続きはどうなっているのか。それから、今後少子化が進むと小規模校では試合に出る生徒を確保するのも難しくなるが、複数校で大会に出場するといった検討はされているのか伺いたい。

山下学校教育
課副主幹 部活動につきましては、生徒数の減少とともに教員数も減っており、昔のように多かった時期の部活動数に対応できない事態が起きています。廃部する際の手続きにつきましては、入部している生徒については卒業までその部活で活動し、顧問もつきますが、それ以降の年度については募集を

停止する学校が多いかと思えます。それから合同部活動ですが、試合に出る最低人数を確保できない学校につきましては、近隣の学校と合同チームということで、両方の学校名をつけて合同チームとして試合に出ることは可能となっています。

石本委員 野球やサッカーなど団体で活動する部活は、どうやって廃部するのか。

山下学校教育課副主幹 大所帯の部活の廃部については経験がありませんが、柔道部を例に申し上げますと、学校に柔道部がない学校についても保護者から大会に出たいという要望があれば、校長がそれを受けて保護者引率のもとに、その学校名で大会には出られます。そういうこともありますので、小さい柔道部で団体は組めないけれども柔道部として出たいという申し出があれば、その団体としての学校から出ることはできます。

大石委員 資料4の中学校運動部活動について、それぞれ1となっているが、バスケットボールやバレーボールは男女の区別がなくなってしまったのか。

山下学校教育課副主幹 バスケットボールにつきましては男女ともにありますが、バレーボールについては男子バレーボール部がない学校はあります。

大石委員 表の見方として、男女で分かれているわけではなく、その部活があれば

	1ということか。
山下学校教育 課副主幹	男女関係なく、その部活があれば1としております。
荻野委員	スポーツ観戦事業について、目標に国際的・全国的な競技大会の誘致やオリンピック・パラリンピックの合宿地誘致を目指しますとあるが、具体的に取り組んでいることがあれば伺いたい。
海老沢スポー ツ振興課長	東京オリンピック・パラリンピックにつきましては、東京2020事前トレーニング候補地ガイドというものがあり、市民体育館は卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボールなどの種目を候補としております。また、バレーボールにつきましてはワールドリーグを開催したり、春高バレーやVリーグのような大きな大会が開催されました。
荻野委員	さいたま市では、さいたまスポーツコミッションを立ち上げて、いろいろと大会の誘致をされているが、スポーツ振興課の中にはそういったコミッション機能はあるのか。
海老沢スポー ツ振興課長	そういった事業については、立ち上げておりません。

荻野委員

先ほどVリーグが開催されているという答弁があったが、その開催に当たってスポーツ振興課としてはどういう関わりをしているのか。

海老沢スポーツ振興課長

実際のところは、団体からこういった大会を開催したいということで話が来ます。また、見るスポーツということで大きな大会の開催の際には、中学校の部活に声掛けいたしまして、生徒達が迫力ある試合を観戦できるよう振興しております。

植竹委員

本市では平成27年3月に、飯能市、狭山市、入間市、日高市とともに、株式会社西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定を締結し、この協定を活用し、見るスポーツの推進を図りますとあるが、これは5市で一緒に取り組むのか、それとも協定に基づいて所沢市独自で見るスポーツの推進を図るのか。

海老沢スポーツ振興課長

西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定の協働事業の1つとして、プロスポーツの観戦ということで、西武ライオンズから所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の小・中学校にチケットを配布している状況です。

大石委員

所沢市長杯と銘打って行っている大会はあるか。

海老沢スポーツ振興課長

バレーボール、卓球、リトルシニア等があります。

大石委員

例えば、バレーボールを見に行っても、地元のチームが出ているのに市民の応援が少なかったりする。見るスポーツの推進とあるが、もう少し地元を愛する、地元を応援する気持ちにつなげて欲しいと思うが、いかがか。

海老沢スポーツ振興課長

確かに、秋に開催しているフレッシュバレーボール大会は実業団の全国大会ですが、観戦者が少ないといったことがあります。担当課としても、チラシをつくってあらゆるところに配布したり、ホームページに載せるといった工夫はしておりますが、まだまだ追いつかないところがあります。

小林委員

資料3について、ピラミッドとタワーの違いを伺いたい。

海老沢スポーツ振興課長

ピラミッドは四つん這いになった状態の人を積み重ねますが、タワーは立った状態で人と組んで積み上げていきます。

小林委員

松井小は組体操を実施するが、ピラミッドとタワーは行わないとなっているが、これはどういうことか。

本間スポーツ 組体操そのものは行いますが、ピラミッドやタワーと呼ばれる技について
振興課指導主 には行わないということでもあります。

事

小林委員 中学校は、かなりの数の学校で組体操自体を実施していないが、これは
事故が多いから見直ししてやらなくなったのか。

本間スポーツ そういった学校もあるのかもしれませんが、事故とは関係なくある一定
振興課指導主 の時期からやっていない学校もあります。

事

小林委員 小学校についてはかなりの学校が組体操を実施しているが、見直しにつ
いて話し合いをしたり、保護者から意見が出ているのか。

本間スポーツ いろいろと安全上の問題が取り沙汰されておりますが、各学校の創意工
振興課指導主 夫によって安全を第一に考え、どのように実施したらいいのだろうという
事で、校長の判断のもと進めております。

荻野委員 スポーツ情報の充実について、ホームページにはいろいろとスポーツの
催しの案内があるが、あまり一元化されていないという印象がある。そう
いった情報が集約されれば、応援に来る方もふえたりするのではないかと

思う。他の課では最近SNSを使っているが、その辺の活用について考えをお聞きしたい。

海老沢スポーツ振興課長 確かにスポーツの情報に関して、一元化が課題と考えておりますことから、今後SNSにつきましても課内で検討していきたいと思えます。

植竹委員 学校開放の屋内運動施設の使用料を、利用者に負担していただくことについて検討していきますとあるが、これは各学校の体育館のことか。

海老沢スポーツ振興課長 そのとおりです。

植竹委員 今は無料で使っているということか。

海老沢スポーツ振興課長 施設使用料については無料ということですか。

植竹委員 今後は体育館を利用する際、有料にしていく方向性があるということか。

海老沢スポーツ振興課長 学校開放につきましては、屋外で照明を使って夜間利用する団体につき

ツ振興課長

ましては、照明代をいただいております。そうしたことから、屋内についても公平性ということで検討していくものです。

【質疑終結】

石本委員長

本日審査した特定事件については、審査を終結することよろしいか。

(委員了承)

散 会 午後2時50分